



檜原学園  
Hinohara Gakuen

# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



5月号

令和6(2024)年度

5月1日(水)

1. ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

## 受容する

副校長 神田 裕一

本校では、「体験のシャワー」の学校経営方針の下、各学年で様々な体験活動を行っています。檜原村について調べ・見学したり、中央区立阪本小学校との交流をしたり、岩井臨海学園や日光移動教室、社会科見学等を行ったりと、様々な体験活動をしています。そのような中、第6学年の児童が、更に見識を広げられるよう授業を行いました。テーマは、「世界には色々なところがある」にしました。総合的な学習の時間の一環で、日本の習慣等と比べながら文化の紹介をしました。昨年度の学校だよりでは、「オマーン国」について書かせていただいたので、今回はもう一つの赴任地「ポーランド国」について話した際に、子供たちの興味・関心が高かったことについて記します。

- ・冬期は-20℃以下になることもあり、水を撒くと天然スケート場ができる。
- ・冬場にバナナを外に置いておくと凍り、金槌代わりに鉄の釘が打てる。
- ・夏は公園などに日焼けをしに来る人が多い。
- ・雨が降っても傘をささない人が多い。フードで雨を凌ぐ人がほとんど。
- ・映画の吹き替えは、一人の男の人が全ての役を演じる。

日本との違いには理由があり、その国の風土や歴史などが大きく関わってくるのではないかと感じます。子供たちには、まず事実(体験)を伝え、なぜそのようなことが起こるのかを考えてもらいました。「-20℃」という数字には驚いていましたが、北海道と同じくらいの緯度にあることを知ると納得していましたし、年間の日照時間が短いことから、夏に積極的に日焼けしていることも納得していました。ちなみに、公園に行くと多くの人がサングラスをかけて芝生で寝ています。バナナの実験は昔、テレビのCMで観たものを行ったのですが、そのCMを知っている子がいて、驚きました。また、傘をささない人が多いのは、1日の天気が変わりやすいことも理由の一つだと考えます。南部に山岳地帯があるものの、私の住んでいた地域は平坦な場所で風通しがよいため、雲の動きも早く、1日に4、5回天候が変わることもありました。そのため、少し待っていたら、雨が止むと考える人も多いのかな、と思います。

映画の吹き替えについては、ポーランド人に「なぜ」と聞いても答えが返ってきませんでした。外国映画の吹き替えには、一人の男性声優が初めから最後まで全ての演者の声を当てるようです。反対に、当地の方々からは「どうしてそんな質問をするのか」といった反応がありました。

「アンコンシャスバイアス」という言葉を聞くことがあります。「無意識の偏見・思い込み」を意味する言葉ですが、自分の過去の経験や日々接する情報、周囲の意見などから無意識のうちに形成されるものです。アンコンシャスバイアスは、誰にでもあるのではないかと思います。小学校段階から広い視野を身に付けていこうとする姿勢をもつことで、多くのことを受容できるようになるのではないかと考えます。そして、本校の学校教育目標の一つである『進んで学ぶ子【学ぶ楽しさを知り、自ら学びに向かう子供(問題解決力)】』の体現につなげていきたいと考えます。

本校でも授業等に関して、より一層の改善を図り、広い視野で物事を考えられる児童の育成に励んでいきますので、今後とも、保護者の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

## 離任の挨拶

皆様、お元気ですか。私は、間に3年間の特別支援学校勤務を挟みましたが、合わせて6年間お世話になりました。檜原小での子供たちとの関わりはもちろん、檜原村で過ごした日々はとても充実していて、大切な思い出となりました。

小学生の時、自然や動物が好きだった私は、4年生の社会科の学習で『八丈島』と『檜原村』を知り、いつか絶対に、この素敵な場所に行きたいと思いました。長い年月を経て、『青ヶ島』と『檜原村』に勤務する機会を得て、夢を叶えることができました。今の夢は、これからもたくさんの子供たちに出会うことと、出会ってきた子供たちみんなが、それぞれの夢に向かう姿を応援することです。

檜原小の子供たちを、ずっと応援しています！また大好きな檜原村で出会うことも楽しみにしています。お元気で！

6年間お世話になりました。養護教諭は体調が悪い子やケガをした子との関わりがメインですが、檜原小ではそんな事はなく、元気な子ども達ともたくさん関わる事ができ、子ども達からたくさんパワーをもらうことができました。檜原小だからこそ、少人数だからこそ経験できたことがたくさんあり、あつという間の6年間でした。保護者の皆様にもたくさんご協力頂き感謝しております。またどこかで見かけた時にはぜひ声を掛けて頂けたら嬉しいです。皆様、健康に気をつけてお過ごしください。檜原小学校が大好きです。本当にありがとうございました。



檜原小学校で産休・育休合わせて6年間お世話になりました。

算数少人数教室の先生、パソコンの先生として全学年と様々な授業をしたり、休み時間にたくさん話をしたりして、とても楽しかったです。

保護者の皆様にも、数多くのご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

八王子市立東浅川小学校は、全学年3クラス、500人程度の学校です。檜原小学校の8倍以上の人数に圧倒されていますが、檜原小学校の思い出や経験を糧に、頑張っていきます。

この素敵な檜原小学校で、昨年よりも、大きく健やかに成長していくことを願っています。

### 5月生活目標



ていねいな言葉づかいをしよう

言葉は自分の気持ち、考えや感情等を相手に伝え、人との関わりを深めるためのコミュニケーションの基本です。

友達と先生、学校と家庭など、相手や場面に合わせた言葉づかいを意識して、気持ちのよい生活が送れるように取り組んでいきます。

ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

生活指導担当



### 5・6年 遠足

5、6年生の遠足で「御前山」に行きました。天候にも恵まれ、約1.1kmに及び激しいコースでしたが、子供たちが互いに声を掛け合い、支え合いながら歩き、無事下山することができました。山を登り切った子供たちの表情はとても晴れやかで充実した様子でした。何よりお家の方が作ってくださったお弁当を食べる姿が幸せそうでした。これで6年生は、校歌に出る檜原三山（大岳・三頭・御前）を制覇しました。5年生は、来年大岳山に登る予定です。次に5、6年で活動するのは運動会です。互いに協力合ってよりよい運動会となるよう声をかけていきたいと思っています。

6年担任



### 1年生を迎える会

4月24日に1年生を迎える会を行いました。入学した1年生が6年生と手をつなぎ、花のアーチをくぐって体育館に入場しました。企画委員会の5・6年生が司会進行を務め、5年生の考えたゲームや、6年生が中心となって縦割りの班での交流を楽しみました。各学年それぞれの工夫で、新1年生を歓迎し、1年生が退場する際には全校児童でアーチを作って送り出す微笑ましい会となりました。児童数59名の小さな学校だからこそ生まれる、温かな一体感、檜原小学校の大切にしたい文化でもあると思います。今年度も集会活動を通して、子供たちの絆を強めていってほしいと願っています。



特活部

### 檜原学園運動会

新年度始まって、檜原学園として迎える大きな行事である「檜原学園運動会」の時期になってきました。

小学校、中学校と互いに手を取り合い、一致団結して取り組めるよう練習を進めていきます。個人での見せ場、集団での表現など見所がたくさんです。今年度のスローガンは「巻き起こせ 檜原旋風」です。

令和6年5月25日（土）午前開催しますので、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。

子供たちの必死に取り組む姿に熱い声援をお願いいたします。



運動会担当